

仏・ロレアル 第31回 国際化粧品技術者会連盟(IFSCC)学術大会2020で 「口頭発表 応用研究部門 最優秀賞」受賞 — 動物によらない有効性・安全性予測のための新規なツール —

世界最大の化粧品メーカーである仏・ロレアルグループ（本社：パリ）は、2020年10月21日~30日、初のオンライン開催となった国際化粧品技術者会連盟（The International Federation of Societies of Cosmetic Chemists /以下 IFSCC）の学術大会において皮膚と毛髪に関する広範囲にわたる高度な研究の最新結果を発表し、ロレアルリサーチ&イノベーションセンター サシャ・サラメ研究員らによる“A perfusable vascularized full-thickness skin model for topical and systemic applications (血液が流動可能な血管網を備えた局所および全身投与試験のための全層皮膚モデル)”が、「口頭発表 応用研究部門 最優秀賞」を受賞しました。

IFSCC は世界各地の化粧品技術者会から成る国際機関で、現在 79 か国、49 の団体が加盟し、約 16,000 名の会員を擁する化粧品の科学・技術に関する世界最大の学会です。学術大会として、西暦偶数年に各国の化粧品研究者が最新の研究成果を発表・討論する本大会「IFSCC Congress」を、西暦奇数年には若手研究者の教育や発展途上の加盟国への啓発を目的に中間大会「IFSCC Conference」を開催しています。

今年の第31回学術大会本大会は、当初日本の横浜で行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン上でバーチャルコンgresの形式で開催されました。今回は世界 19 か国から 69 件の口頭発表、372 件のポスター発表がおこなわれ、その中で、ロレアルからは口頭7件、ポスター35件、計42件の最新研究結果を報告しました。そのうち口頭2件、ポスター4件は日本における研究開発部門であるリサーチ&イノベーションセンター（所在地：神奈川県川崎市、所長：マチュー・キャシエ）によるものです。

口頭発表 応用研究部門 最優秀賞

- 受賞研究名： “A perfusable vascularized full-thickness skin model for topical and systemic applications.”
「血液の流動が可能な血管網を備えた局所および全身投与試験のための全層皮膚モデル」
- 受賞者： ロレアル リサーチ&イノベーションセンター サシャ・サラメ
- 研究概要： 組織の生存および活動には血管を通じた栄養や酸素の供給、老廃物の除去が不可欠です。ロレアルのこれまでのヒト再構築皮膚モデル作成の技術と細胞の自己組織化、そしてマイクロ流体工学の技術を用いて血管網を備えた人工皮膚モデルの作成に成功しました。このモデルは生体皮膚における局所あるいは全身投与された物質の動態を反映し、動物実験によらない有効性・安全性予測に有望なツールです。この研究はPSL研究大学（ステファン・ジェルマン主任研究員）および東京大学（竹内昌治 教授）との協力の下に行われたものです。

マチュー・キャシエによるコメント

ロレアルでは100年以上にわたり、イノベーションと製品パフォーマンスの向上を目指して活動してきました。特に今年は、科学技術の知識の宝庫である日本で開催された大会で受賞できたことを光栄に思います。ロレアルは35年以上にわたる日本への投資を通して、先端技術を導入し、また最高のパートナーと共同開発を行ってきました。世界で最も要求の高い日本の消費者の期待に応える製品を開発してきた研究員たちに心から感謝を伝えたいと思います。今回最優秀賞を受賞したサシャ・サラメは2015年10月から2016年12月まで日本のリサーチ&イノベーションセンターで研究活動を行っており、その間の研究が今回の発表のベースになっています。ロレアルでは、世界7か所にあ

るリサーチ&イノベーション センター間の人材交流や育成に注力し、国際的なキャリアパスと科学的知識や経験を得られる環境を提供しています。

ロレアルリサーチ&イノベーションの IFSCC 大会 (Congress/Conference) における実績

今回の受賞は第 29 回オーランド大会 (2016 年) に続く、最優秀賞の受賞 (※1) となります。

※1 「ソニフィケーション：髪表面状態を音楽に変換して表現する方法」毛髪表面の摩擦の微細な変化を高感度センサーで感知し、可聴化する。音楽を通して施術前の毛髪状態を評価し、トリートメントなどの施術後の修復効果を音で表現することで消費者の感性に応える新しい消費者体験を提供する日本発のツール。

ロレアルグループについて (<https://www.loreal.com/>)

仏・ロレアルは、100 年以上にわたって美に捧げてきました。36 の多様で国際的で独自のブランドポートフォリオを有し 2019 年でのグループの売上高は 298.7 億ユーロ、社員数は 88,000 人です。世界有数の化粧品会社であるロレアルは、マ ス市場から百貨店、調剤薬局、ドラッグストア、美容院、トラベルリテールや旗艦店、E コマースなど、あらゆる流通チャネ ルで展開しています。4,100 名の研究員を有し、研究開発をグループ戦略の基幹に置き、世界中の人々の美への熱望を 叶えるために日々活動しています。野心的で持続的発展を目的としたロレアルグループの 2030 年に向けたサステナビリ ティの取り組みは、よりインクルーシブでサステナブルな社会実現のためのエコシステムの実現を目指しています。

日本ロレアルについて (<http://www.nihon-loreal.jp/>)

ロレアルは 1963 年から日本で事業を開始し、1996 年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2019 年時点での社員数は、2,670 人、2020 年 10 月現在の取り扱いブランドは 17 です。化粧品の輸入、製造、販売、マーケ ティングを行っています。

日本ロレアルリサーチ&イノベーションセンターについて (http://news.nihon-loreal.jp/research_innovation_center/)

日本における研究開発は 1983 年にスタートし、現在、日本ロレアル リサーチ&イノベーションセンター (所在地：川崎市溝の口、所長：マチュー・キャシエ) として、戦略的なイノベーション拠点としての役割を担っています。数ある外資系化粧品企業においても、もっとも歴史ある研究開発部門であり、いち早く日本の文化、歴史、社会を深く理解し、200 名以上の研究員が日本人消費者のための製品開発を行っています。